事例No.	2174
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県北九州市

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	キャッシュレス

事例内容・タイトル

粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

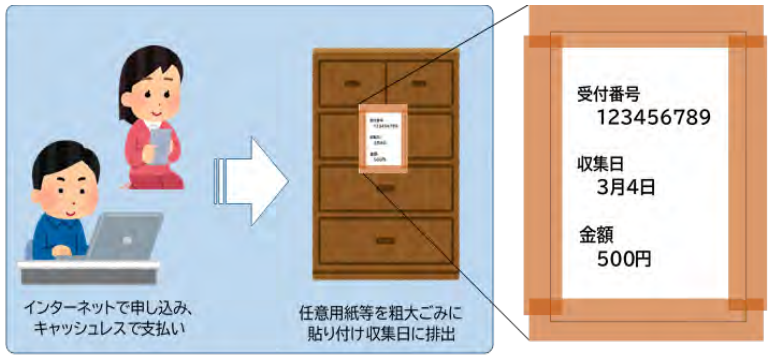
194 粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス化【福岡県北九州市】

事業の概要

○ 北九州市では、市民の利便性向上及びウィズコロナの観点から、有効な手段として、非対面での「粗大ごみ処理手数料」の納付方法として、キャッシュレス決済を令和4年２月から導入している。

○ 市民は、自宅のパソコンやスマホからインターネットで粗大ごみの収集を申し込み、キャッシュレス決済ができる。

○ これまではコンビニなどで納付券を購入する必要があったが、手続きをインターネット上で完結できるようになった。



※ 納付券を買いにコンビニ等に行く必要がありません。

【任意用紙等の記入例】
※ 任意用紙等は１辺 20㎝程度のもの。

【参考情報】 人口：約94.5万人
関連URL：https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/file_0049.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



市民生活と密接に関係した粗大ごみ処理の受付（年間約12万件）における新型コロナウイルス感染防止対策と、デジタル社会に対応した利便性の向上のため、「非接触・非対面」対応ができる有効な手段として導入することとしました。

（北九州市）



住民の反応（声）はいかがですか？



「24時間受付できるインターネット受付・決済はありがたい」「決済方法について選択肢を増やすことは大切だ」「自宅で納付券の印刷ができるようにしてほしい」などの声を聞いています。



今後の抱負をお聞かせください。



「ごみの減量化・資源化」には、市民の理解と協力が大切です。これからも、市民が日々の生活や活動を行うさまざまな場面で、環境に配慮した行動を主体的に行うことができるよう、デジタルの力も、有効な手段として活用していきたいです。

★担当：北九州市環境局 業務課★

令和3年度事業費　4,000千円